

越路町岩野（信濃川右岸側）

調査日：平成 16 年 10 月 31 日（日）

班：地盤土構造マネジメント班 [古関]

分類別：被災状況

キーワード別：液状化

調査結果

水田に広範囲に噴砂（写真 1）。地元住民によれば、砂利を採取したあとに最大 15m の深さまで山砂や岩ズリで埋め戻しをしたとのこと。噴出した砂はシルト混じりの細砂だった。埋め戻しを行っていない箇所では噴砂なし（写真 2：遠景に見える信濃川右岸堤防は天端にクラックが入り、応急復旧したとのこと）。

上記から長岡側に向かう道路で 1 m 程度の陥没あり（写真 3）。隣接の水田では側方流動による盛り上がり等の痕跡は見られず、むしろ道路と一緒に他よりも沈下していた（写真 4）ことから、これらのように局所的な沈下が生じた原因として、埋め戻し深さが著しく深い、あるいは埋め戻し部の密度が著しく低いことが考えられる。



写真 1 噴砂の一例



写真 2 砂利を採取していない箇所は噴砂なし



写真 3 水田内を走る道路の陥没



写真 4 陥没した道路側方の状況